金沢中心街投資呼ぶ

県内路線価

片町がプラス転換

北陸新幹線金沢開業の効果で、金沢市では駅周辺や中心市街地の不動産に投資資金が流れ込んでいる。1日、金沢国税局が発表した石川県内の路線価は駅周辺が高い伸びを示し、香林坊周辺が前年に続き上昇、片町2丁目付近ではプラスに転じた。今後、複数のホテルが続々と開業する予定で、不動産鑑定士は「金沢の地価は大都市圏と比べてまだまだ割安で魅力的な投資先とみられている」と分析した。

【1面に本記】

ホテルなど開業続々

金沢市中心部の路線価を前年と比較すると、香林坊2丁目の香林坊ラモーダ付近が4万円上昇の1平方㍍当たり48万円、同1丁目の香林坊大和前が2万円上昇の50万円となった。片町2丁目は、旧ラブロ片町周辺の再開発ビル「片町きらら」が9月に商業フロアを先行開業させることから、商業活性化の期待があり、1万円アップの36万円だった。

石川県不動産鑑定士協会の堀江寿郎会長は「駅周辺の不動産需要は高いが、一等地の供給が少ないため、投資家の目は香林坊、武蔵、片町に向いている」とみる。

金沢市内では新幹線開業前から、観光客の増加を見込んだホテルが続々と立地し、不動産価格の上昇に影響を与えてきた。実際に客室稼働率が平日にやや低いが、土日は非常に高く、「期待通り」と話す。上堀町や下堤町でも今後、複数のホテルが開業を予定する。

日本不動産研究所金沢支所長の神田勝廉氏によると、金沢でホテル建設を検討する投資家は多いとみられ、適地かどうかや収益性などについて、複数の問い合わせが寄せられているという。

投資額の大きなホテル開発は、長期的にどれだけの利益が見込めるかが判断基準となる。神田氏は「このところ、2～3年程度の比較的短い期間の収益性をもとに投資を考える例が見受けられ、この点は気掛かりだ」と説明した。

日銀の大規模な金融緩和によって資金を調達しやすい状況が続いており、東京など大都市から地方都市へ投資マネーが向かい、地価が上昇する構図は金沢にも当てはまるとみられる。神田氏は「金沢の地価は長期的に強含みだと思うが、海外経済の動向は要注意だ」と話し、ギリシャ債務問題などの展開次第では、地方に流れ込んだ投資マネーが逆流するリスクがあると指摘した。

路線価が上昇している金沢市の中心市街地
＝同市香林坊周辺

金沢、白山 連続さい銭泥棒

3～6月に十数件、工具使用

今年3～6月に金沢市中心部や西部、白山市北部の複数の神社で、さい銭の窃盗被害が未遂を含めて十数件相次いだことが1日、捜査関係者への取材で分かった。工具のようなものでさい銭箱を壊す手口で、石川県警は同一犯の可能性もあるとみて捜査を進めている。

捜査関係者によると、金沢市西部の神社では6月8日と11日の2度、さい銭箱の南京錠が壊され、現金が盗まれた。5月26日に被害が分かった白山市北部の神社では、木製のさい銭箱の側面に穴が開けられ、格子状の木組みがのこぎりのようなもので切られていた。拝殿の窓が壊され、内部が荒らされた神社もあった。

いずれの神社も深夜から未明にかけて被害に遭ったとみられる。現場に銘柄の違うたばこが複数本捨てられていた神社もあり、県警は複数人による犯行の可能性も含めて調べている。

県神社庁によると、今年に入り、金沢、白山市のほか、加賀、羽咋、かほくの各市と津幡町の神社でさい銭の窃盗被害が確認されており、各神社に文書で注意を呼び掛けている。

側面に穴が開けられたさい銭箱
＝白山市内の神社

箱根山が再噴火

小規模、レベル3維持

気象庁は1日、神奈川県の箱根山が同日午前4時から5時ごろの間に、再噴火したと発表した。ごく小規模という。

噴火警戒レベルは3（入山規制）を維持。今後も小規模な噴火が発生し、大涌谷の半径1㌔では大きな噴石が飛ぶ可能性があるとして、警戒を呼び掛けている。

強制わいせつ未遂疑いで男を再逮捕

七尾署

七尾署は1日、強制わいせつ未遂の疑いで、七尾市天神川原町、現場作業員渡辺雅之容疑者(30)を再逮捕した。渡辺容疑者は同市内の駐車場で今年2月、軽自動車内の女性を脅し、現金約1万4千円を奪ったとして逮捕され、強盗と窃盗の罪で金沢地裁で公判中となっている。

逮捕容疑は今年1月15日午後8時ごろ、七尾市内の路上で、石川県内の10代少女の背後から抱き付き、刃物のようなものを示して「よく切れるから動くな」などと脅し、わいせつな行為をしようとした疑い。

同署によると、渡辺容疑者は強盗容疑事件の取り調べ中に強制わいせつ未遂へ